

発電所を設置して3回目の春が来ました。ようやく日差しも長くなりこれから発電日和が続きますね。みなさまにご支援いただいたパネルたちは元気に作動しております。

3.11からは4年が過ぎました。被災した方々に私たちにできることとして、福島の子供たちを長期間受け入れ、保養と集団生活、自然体験を通した教育プログラムとして、この春で4回目のふくしまキッズプログラムを行いました。この春は38名の福島在住の子どもたちに自然体験を中心にした9泊10日のプログラムでした。

福島では今もなお外遊び、里山で遊ぶこと、川で遊ぶこと、そんな当たり前のことが普通に出来ない暮らしです。豊かな自然が目の前にあるのに触れることが出来ない、といった違和感のあるなかで子どもたちは暮らしています。

田歌舎ではそんな子どもたちに少しでも豊かな自然で遊ぶ機会を提供したいと考えており、これからも継続して春休みや夏休みの機会に子どもたちを受け入れる活動を続けていきます。

苦難を乗り越えて成長する子どもたちこそがきっとこの浪費社会から方向転換し、継続可能な社会作りに、世直しに力を発揮してくれるはずだ、そう信じています。



写真はふくしまキッズ 2015 春京都プログラムより

さて、おひさま発電所の報告です。  
今年(2013年9月～2014年10月)の年間発電量は、9,575 kWh、年間総買電額の40% 163,900円を無事?寄付することができました。設置の際に応援くださった皆様にお礼申し上げますと共に、日々田歌舎で頑張るスタッフ一同励みにかえたいと思います。

東京オリンピック招致、原発再稼働など、この国はまだ右肩上がりの幻想から抜け出せません。ですが、私たちが身の回りの自然、空気、太陽から得られる幸せは右肩上がりとは全く無縁な心地よいものです。私たちは引き続きその当たり前のことを、お客様との出会いを通じて発信し続ける田歌舎を目指します。

今後ともご支援よろしくお願ひします。

平成27年4月10日  
田歌舎 代表 ふじわらほまる